

# 「地方独立行政法人西都児湯医療センター第2期中期目標（案）」

## に対するパブリックコメントの実施結果

○意見募集期間 平成30年10月1日（月）から31日（水）まで

○意見数 1通（9件）

○意見の内容及び意見に対する市の考え方

	意見項目	ご意見の内容	本市の考え方
1	前文	下から3行目に「市と密に連携」とありますが、西都市だけなのでしょうか。	西都児湯医療センターは西都児湯二次医療圏の中核的病院であり、児湯郡町村、あるいは県等との連携も必要であります。設置者である西都市との連携が特に重要となることから「市と密に連携」としております。
2	前文	結びが「求める」とありますが、他の表現はないのでしょうか。	ご意見を踏まえ、「寄与することを求め、ここに中期目標を定める。」といたします。
3	前文及び第1～第3	地域医療の、地域の、地域住民のなど「地域」が頻繁に用いられていますが、西都児湯二次医療圏を意味しているのでしょうか、明確にしてはどうでしょうか。	基本的には西都児湯二次医療圏を意味しておりますが、医療分野において地域的な範囲を明確にすることは難しく、地域という表現が一般的ですので、現記述のとおりとさせていただきます。
4	第2～第5	文末等が「・・・こと」で結んでありますが、必要なのでしょうか。	中期目標は市長が定め、法人に指示するものであり、「こと」で結んでおります。
5	第2-1-(1)(3)	(1)に「完結型医療を目指して」とありますが、(3)の「紹介率及び逆紹介率の向上」との関係をもう少し具体的に表現できないのでしょうか。地域の医療機関等全体で一つの病院のような機能を持ち、切れ目のない医療を提供しているというものであれば。例えば、初診患者の紹介率が〇〇%、逆紹介率が〇〇%などもう少し踏み込んだ表現にしてはどうでしょうか。	ご質問のとおり、圏域内の医療機関が役割分担の上、連携を図り圏域内で医療を完結させることを目指しており、そのためには初診患者の紹介率、逆紹介率の向上を図る必要があります。紹介率、逆紹介率の具体的な目標値については、中期目標を受けて、法人が策定します中期計画の中で記載されることとなります。
6	第2-1-(2)	(2)に「法人での対応が困難な救急医療」とありますが、一次、二次及び三次を含めたことなのでしょうか。	ご質問のとおりです。一次、二次救急については、可能な限り西都児湯医療センターで対応いたしますが、診療内容によっては対応出来ないケースも想定されます。また、三次救急は、二次救急まででは対応できない重篤な疾患や多発外傷に対する医療であり、指定されている宮崎大学医学部付属病院、県立宮崎病院、県立延岡病院の三次救急医療機関との連携を図ります。

7	第2-2-(1)	<p>「優秀な」とありますが、なにを基準に優秀なのでしょうか。たとえば、地域医療の中心的な医療を担うとか地域住民に信頼されるとかなどの表現では。</p>	<p>ご意見のとおり、「<u>地域住民に信頼される優秀な</u>」といたします。</p>
8	第3-2-(1)	<p>「コスト意識の深化を図り」とありますが、「深化」という表現は適切でしょうか。住民に周知する中期目標であるならば、できるだけ分かりやすい表現がよいのでは。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ「<u>コスト意識の徹底を図り</u>」といたします。</p>
9	第4-1-(3)	<p>「市は法人に対して必要な費用を負担する」という表現は行政側が考慮することであるのでは。独立採算を基本とする西都市とは別の法人格である「地方独立行政法人」が中期目標に定めることではないのでは。西都市が責任を負う法人ではありますが、新病院建設に向けて整備計画を計画的に進めている段階からそのような考えは住民等の理解が得られるのでしょうか。</p>	<p>地方独立行政法人制度の一般的ルールとして、中期目標において不採算部門となる救急医療等の実施を指示した場合の負担のあり方などについて記述したものであります。</p> <p>「必要な負担」には、法人の赤字を単に補てんするという意味合いの記述ではないものです。</p>